

理想と現実



子どもを怒ってはいけないとき...①食事中、②登校・登園前、③寝る前...なんだそうですよ。げげっ、ピンポーン! 基本的にほぼ毎日、すべての場面で怒っている。

しかもコテンパンに泣かすこと、数知れず。子どもは風の子。外で元気に遊ばせたい...と思いつつ、寒いからと言って、週末、一步も家から出ないことがある。「公園に行きたい」と子どもにせがまれ、「え〜?」とか「チッ」とか舌打ちする。子どもは地域の中で、人間関係を大切にしながら育てたい...でも、町内の子ども会を2年で辞めた。去年は秋祭も参加せず、面倒臭い寄付集めやお神輿の準備も手伝わず、きっと他のお母さんからヒンシュクを買っている。ショッピングセンターをブラブラし、セールでつい自分の服ばかり買っている。「お子さんにどうぞ」といただいたオヤツを、美味しくてうっかり全部食べてしまうこともしょっちゅう。ゴメンナサイ。こんな母で。理想と現実とは果てしなく遠いのだよ。(池田美穂/広島市)



かじかんだ指



先日の雪の日のこと。憧れの雪遊びを学校でいっぱいした長男・トット(小1)。帰宅してから興奮気味に報告してくれた。「あのね、ゆびには線があるでしょ。その一番はじこの部屋がね(第一関節のことらしい)、あかくなってるね。なんかふくらんだみたいなの、しわしわみたいになってね。鉛筆でノートに字を書こうとしても、手がふるえるみたいになってね...」

「寒さで手がかじかんだ」と、大人ならたった一言ですませるところを、こんなにもたくさんの言葉を使って教えてくれようとする。それは一生懸命に。「かじかむ」という言葉をまだ知らなかったから。雪で指がかじかんで、へんてこになって自分の思い通りに動かなくなった、その不思議さ、うれしさ、興奮が全部伝わってくるよう。「知ること」は素晴らしいけれど、「知らないこと」もまたいいもんだと教えられた、雪の一日。(村上由起子/熊本市)



親子新聞部

着物でスケートなんて、スゴイよねえ。お母さんが日本人なんだね。

そうね。アメリカ出身だけど、日本代表なんだよ。男の人は、家紋入りの紋付き姿だったね。

アイスダンス個性競演

オリンピックアイスダンスで、規定18位だった米国出身の姉弟、キャシー・リード、クリス・リード組は和風の演技で「日本」を表現。会心の演技で16位に順位を上げた。【読売新聞2/23・スポーツ面】



こういうこと、日本人もどどんやればいいのに。

日本人は欧米の真似をし、外国人は日本の真似をして...。お互いを認め、自国に関心を持つってことかな。娘にどう伝える?(大谷聡徳&かな穂) ※キャシー・リード、クリス・リード組は、日本代表選手です。

きっと大丈夫!

うちの娘(2歳6か月)より小さなお子さんを持つお母さんから、「コップの練習は何か月から始めましたか?」「離乳食、いつから3回食にしましたか?」「何か月から大人と同じ食べ物を食べさせていますか?」「トイレトレーニングはどうしていますか?」とよく質問を受けます。

私の答えは、以下の通りです。「コップの練習はしたことはありません。私がコップを使っているのを見た娘が興味を持って勝手に使い始めました。こぼさないかって? そりゃもうしょっちゅう、今もこぼしまくってますよ。今でも練習中ってことかな?(笑)」3回食も、大人と同じ食事を与え



るようになったのも、本人が食べたがったときからです。「トイレトレーニングは今もまだやってません。でも一緒に遊んでいる年上の子がトイレに行くのを見ているうちに、自分からトイレに行くと言うことが多くなりましたよ。私、「〇か月になったから〇〇の練習しなきゃ」とか、「△か月になったから離乳食を◇回食に!」なんて一度も考えたことないかも。すべて「なんとかな〜娘の様子を見ながら」対応してきただけ。こんな私のテキトーすぎる回答は、真面目なお母さんには全く参考にならないようです(ごめんなさい)。でも2年半の子育てで私が感じたのは、「練習だ、トレーニングだと親が必死にならなくても、子どもは時期がきたらちゃんと興味を示したり、自分か



ら行動を起こしたりする。何か月でできるようになるかも、その子によってそれぞれ。だから、そんなに神経質にならなくても、きっと大丈夫!」ということなのだけれど、何しろ経験の浅いテキトー母さんの言葉なので、なかなか伝わりません(笑)。真面目なお母さんじゃない私に育てられた娘は、意外としっかりした子に育っているのです。テキトーな私のテキトーな子育てが功を奏したか? それとも、これが反面教師というやつなのかな〜?(笑) (厚海有美/横浜市)

子どもの目線

絵本の世界は身近にある

親子で目下はまっているのが「元永定正さんの絵本」。息子(2歳)は、身近でその世界を見つける名人かもしれない。先日は『もこもこ』の「よきよき」を発見。



オリジナルは...『もこもこ』たにかわしゅんたろう さくもとながさたまさ え文研出版



昨日は「お母さん業界新聞」を配布しようと地域版を挟み込んでいると、「ボクもやる!」とお手強い。そして、いきなり、新聞の束を指差して



「ころころころ!」と叫んだ。

指先を見ると...う〜ん、確かに...



『ころころころ』元永定正 さく福音館書店「ころころころ」だ...子どもの目線は鋭い!(渡邊智子/横浜市)



大人が楽しむ絵本

お母さん大学「大人の絵本クラブ」推薦

「あの路」

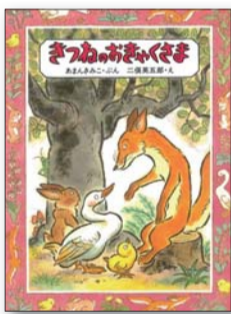
- 文/山本けんぞう
○絵/いせひでこ
○発行/平凡社



短編小説のような「三本足の犬と少年のお話...」。この路に、いつから三本足がすみついたのか? だれも知らない。三本足はしっぽをふりふりする。「遊ぶかい?」のあいさつ。「ひとり」のぼくと三本足はどこかでつながっているよう。ぼくにのっての「あの路」は...。絵のブルーがすごく印象的で、言葉がなくてもその空気がずしんと心に響く、読み応えのある絵本です。子どもが寝静まった夜に読むのをおすすめします。(米倉智子)

「きつねのおきやくさま」

- 文/あまきみこ
○絵/二俣英五郎
○発行/サンリード



はらぺこぎつねのところへやってきた一匹のやせたひよこ。きつねは太らせてから食べようと企み、どどんもてなします。疑うことを知らないひよこは、きつねを「やさしいおにいちゃん」と呼び、そう言われるたび、なぜだかきつねはうっとり。むかしばなしだが古さはない。切なくてあたたかい、心に響くストーリー。いきいきとした絵と、繰り返す言葉の興行きに、何度も読み返したくなる一冊です。(積山礼子)

お母さん大学の部活紹介

暦を楽しむ会
暦を通じて日本の文化を学びましょう。日本人だからこそ。お母さんだからこそ。
部長/大谷聡徳 daiya-3tubu@tempo.ocn.ne.jp

子守隊募集中!
条件は性格のいいシニアに限る!
お母さん大学プロジェクト

葉書きっこくらぶ
あの人に届けたい気持ちを絵はがきに!
1枚の葉書でつながりたい!
部長/塩見美栄子 oshio-m@maia.eonet.ne.jp

お母さん!新聞読もう!
お母さん業界公共広告機構

プチ家出プロジェクト
ストレス発散には、旅がいちばん!
お母さん、笑顔になろうよ
部長/厚海有美 youme-0310@n07.itscom.net

プロジェクトK
九州、母ちゃん、子ども、絆、家族、家庭、過程、心、キュービット、活動、奇跡、そして何より可能性の「K」。
今ここに、お母さんの物語が始まる!
部長/北原智美 Bhjrjs906@yahoo.co.jp

大人の絵本クラブ
子どもに絵本を... いえいえ 大人が楽しむ絵本の会です。
部長/山本妙子 tetu1atom@iris.eonet.ne.jp

メール戦隊M4 (詳細は2頁)
平日の朝8時、心がほんわするメールをお届けします!